

環境対策

▶ 質問

第46回千代田区民世論調査によると、力を入れてほしい施策として36.6%と2番目に高い比率となっています。
具体的な要望として①緑化の推進②騒音、振動、悪臭防止対策の充実③路上喫煙対策が挙げられています。
どのような対策をとっていくべきか、お聞かせください。



いがらし朝青氏

- ①緑化の推進
 - ・都心で水辺と緑をたのしめる環境づくり→屋上緑化、液面緑化、公園の整備、神田川、日本橋川の河岸緑化など
- ②騒音、振動、悪臭対策の充実
 - ・鉄道や高速道路の高架への防音設備を設置・強化
- ③路上喫煙対策
 - ・公共の喫煙所の設置
 - ・条例違反に対する罰則の強化

はやお恭一氏

- ①歩道の拡幅等に伴う既存の樹木の保存・活用、再開発地の緑化率の向上に努める。
- ②騒音等は規制の強化も視野に、現場への適切な指導や助言に取り組む。
- ③路上喫煙対策では、喫煙場所の確保は更なる推進が必要。ただ喫煙所数を増やすだけでなくその運営支援も含め非喫煙者との共生を進める。

ひぐちたかあき氏

江戸時代からの濠、神田川・日本橋川の浄化と活用や、皇居周辺・日比谷公園等の財産を活かした水と緑の豊かなまちづくり。温室効果ガスの排出量実質ゼロに向けて「千代田区脱炭素宣言」づくりを開始。都議時代に議員提案により成立させた「子どもを受動喫煙から守る条例」など受動喫煙対策の区内公園等での徹底。

宮田ともき氏

私は約1ヶ月前から、区長選挙にできるからには千代田区に少しでも良いことをしようと、時間があるときに区内の住宅街を中心にゴミ拾いをしてきました。すると、やはり一番目立つゴミはタバコの吸い殻です。そこら中に受動喫煙防止条例の張り紙があるにもかかわらずです。これに関しては街中にゴミ箱を設置するのが一番の解決先ではないでしょうか。

学校教育の充実

▶ 質問

第46回千代田区民世論調査によると、回答した人の78.8%が重要(まあ重要含む)と考えていますが、満足度は39.1%(やや満足含む)と決して高くありません。
具体的な要望として①個性をのばす教育の充実②子どもの安全・安心が挙げられています。
どのような対策が必要か、お聞かせください。



いがらし朝青氏

①個性をのばす教育の充実・アーティストが学校に行き、子どもたちが一流のパフォーマンスに触れられるカリキュラムを。ジェンダー平等をめざし、個人の尊厳と多様性を尊重・各分野ではばたく児童・生徒へ、一流の環境で学べる独自奨学金の設定

②子どもの安全・安心・子育て現役世代とシニア世代を結ぶくゆるやか家族>施策・マンション内に子育て支援施設を増やすなど、安心の子育て環境を整備する

はやお恭一氏

①一人ひとりの個性を育むには、家庭と学校との相互連携が重要。それらが図りやすい開かれた教育現場を目指し、必要な人材支援にも前向きに取り組む。

②今後、年少人口の更なる増加が予測される。人数が増えても目が行き届き、特に虐待防止やいじめの早期発見・解決のための取組み、また教室等、適切な教育環境の確保を急ぐ。

ひぐちたかあき氏

一人一台端末環境を活かし、予習復習の強化、英語の「聞く・話す」力など、学びの個別最適化・強化に資する「ちよだスマートスクール」の推進。都議時代から取り組んできた、都の学校支援財団(ティープロ)と連携した学校支援人材の確保など、教員が子ども一人ひとりと向き合える環境の整備。

宮田ともき氏

個性を伸ばす教育には少人数教育が一番です。今の1クラスの人数を半分にして、クラス数を2倍にすればいいのです。教室の数が足らなければ、ひとつの教室で前と後ろで授業するんです。後ろに黒板がなければホワイトボードを設置して、後ろの授業が気になるならみんなで机を前につめればいいんです。子供が安全に登下校するには、事故が発生しやすいと思われる場所に保護者や地域の人をつけることがいいと思います。

住宅対策

▶ 質問

第46回千代田区民世論調査によると、列挙された施策の中で、住宅対策のみが不満33.8%(やや不満を含む)が満足28.7%(やや満足含む)に差をつけています。

具体的な要望として①公共住宅の供給②民間活力の活用による住宅供給③中堅所得のファミリー向け住宅供給が挙げられています。どのような対策が必要か、お聞かせください。



いがらし朝青氏

千代田区は若い世代が増加している一方で、他の自治体と比較して高齢化率(人口全体に占める65歳以上の人口比率)が低いと言われているが、近年の推移を見ると近い将来には高齢化の問題が顕在化すると思われるため若い世代と高齢者両方のニーズを満たすような以下の施策が必要。
・マンション内に子育て支援施設を増やすなど、安心の子育て環境を整備する
・住みなれた家で看取りができるような「区営住宅」を廉価で供給する。

はやお恭一氏

- ①現段階ではまずは老朽化した区民・区営住宅の計画的な建替えが必要。
- ②一方で、住宅付置制度の協力金活用等、民間住宅の区民への供給促進を図る。所得に応じた家賃助成制度の見直しも検討したい。
- ③若年層のファミリー世帯が住み続けられるような支援制度にも努める。

ひぐちたかあき氏

都議時代から注力し成立に至った「東京都マンション適正管理促進条例」等による管理組合等への支援、透明性を重視した民間都市開発・住宅供給の推進、都とも連携した公営住宅の強化、様々な事情を抱えた方々への家賃支援など、コロナ禍による家計・暮らしへの影響も踏まえた対策の推進。

宮田ともき氏

千代田区の空き家率は全国平均とほぼ同じの13.3%あります。日本が人口減少に転じている今、千代田区もいつまでも増え続けるはずはありません。この空き家をうまく使いながら、新たな賃貸住宅開発、特に投資目的のものを厳しく規制するべきです。